

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において全国平均を上回っており、話合いを通して考えをまとめたり、自分の考えを適切に表現したりする力が身に付いている。
- 記述式問題の正答率が全国平均を上回っており、読み取ったことや自分の考えを文章で表現する力が育っている。
- 文章の構成や内容を捉えながら読む問題や、語句の意味を文脈に即して理解する問題に課題が見られ、文章を深く読み取る力の向上が必要である。

【数 学】

- 平均正答率が県平均・全国平均を上回っており、「数と式」の領域では数量の関係を文字式で表したり説明したりする力が身に付いている。
- 「データの活用」や記述問題において全国平均を上回っており、資料を分析したり根拠を示して説明したりする力が育っている。
- 図形領域における証明や関数を活用して説明する問題に課題が見られ、数学的な根拠を筋道立てて表現する力の向上が必要である。

【外国語】

- 「聞くこと」や「読むこと」において、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりする問題で全国平均を上回っており、日常的な場面で情報を適切に理解する力が身に付いている。
- 身近な話題について自分の体験や考えを書く問題で全国平均を上回っており、自分の考えや気持ちを英語で表現する力が育っている。
- 長めの英文や音声から要点を捉えたり、読んだ内容を基に自分の考えとその理由をまとまりのある英文で表現したりすることに課題が見られる。

2 生徒質問紙に関する結果の概要

- 「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「将来の夢や目標をもっている」などの項目が県・全国平均を上回っており、自己肯定感や将来への展望をもつ生徒が多い。
- 学級での話合い活動を通して自分の考えを深めたり、互いの意見を生かして課題を解決したりする生徒が多く、協働的な学びの定着が見られる。
- 平日・休日ともに家庭学習時間が十分とはいえず、平日や休日に1時間未満しか学習しない生徒が多く見られ、家庭学習習慣の定着に課題がある。

3 評価と今後の取り組み

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・学習の動機付けを重視した授業改善や対話的な学びの充実による、生徒同士の話合いを通じた考えの深化と、国語・数学を中心とした表現力・記述力の向上
- ・ICTを活用した表現活動や協働学習の充実による、自分の考えをまとめたり説明したりする力や、主体的に学習に取り組む態度の向上

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・国語・数学・英語に共通する課題である、情報を整理・分析し、根拠を明確にして説明する力の育成に向けた、各教科における資料活用や記述活動の充実
- ・ICTを活用した情報整理や表現活動の充実と、生徒が自ら学び方を考え、課題解決に取り組む学習の推進

(2) 生徒質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・学級活動やキャリア教育、対話を重視した授業づくりを通じた、自己肯定感や将来への展望、人との関わりを大切にする意識の醸成
- ・互いの意見を認め合う学級づくりによる、安心して学び合える環境の形成と、話合い活動を通じた考えの深化

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・家庭との連携による、家庭学習習慣の定着と平日・休日における学習時間の確保
- ・読書活動の充実やICTを活用した学習支援による、読解力・情報活用能力の向上と、自ら学び方を工夫する自己調整力の育成